

平成25年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)(案)

平成25年 2月20日

協議会・構成員 当別町地域公共交通活性化協議会

事業名	補助対象事業者等	事業概要	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点
記載要領	<p>【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】</p> <p>評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること</p>	<p>【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等国保補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】</p>	<p>【計画に位置づけられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】</p> <p>記載例： ・計画どおり事業は適切に実施された。 ・記載例：災害により運航できない期間があったが、事業はおおむね適切に実施された。</p>	<p>【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】</p> <p>記載例(確保維持事業)： ・目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載) ・記載例(改善事業)：年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】</p> <p>なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載</p>
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	事業者名 (有)下段モータース 系統名 市街地循環線(昇順)	JR石狩当別駅南口～春日町～JR石狩当別駅南口 運行計画日数 245日 計画運行回数 1,470回	A 事業はおおむね適切に実施されている。	A 利用者数 目標10.8人/日 実績11.3人/日 運行経費に対する収入の割合 目標12.2% 実績13.8%	時刻表を全戸に配布するとともに、路線沿線の町内会・高齢者クラブなどに 出前講座を行い、バスのPR・利用促進に努める。
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	事業者名 (有)下段モータース 系統名 市街地循環線(降順)	JR石狩当別駅南口～春日町～JR石狩当別駅南口 運行計画日数 245日 計画運行回数 1,470回	A 事業はおおむね適切に実施されている。	A 利用者数 目標10.2人/日 実績8.98人/日 運行経費に対する収入の割合 目標11.8% 実績12.6%	時刻表を全戸に配布するとともに、路線沿線の町内会・高齢者クラブなどに 出前講座を行い、バスのPR・利用促進に努める。
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	事業者名 (有)下段モータース 系統名 青山線	JR石狩当別駅南口～とうべつ整形外科～青山会館 運行計画日数 364日 計画運行回数 2,279回	A 事業はおおむね適切に実施されている。	C 利用者数 目標40.3人/日 実績30.6人/日 運行経費に対する収入の割合 目標20.0% 実績15.7% 地域住民の人口が横ばいの中、高齢化による影響もあり目標達成に至っていない。	時刻表を全戸に配布するとともに、路線沿線の町内会・高齢者クラブなどに 出前講座を行い、バスのPR・利用促進に努める。 また、幹線路線であるあいの里金沢線のダイヤを改正し、幹線路線との接続を良くし、利便性を向上させる。

【各評価項目の評価基準】

事業実施の適切性

- A...事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(されている)。
 B...事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
 C...事業が計画に位置付けられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

目標・効果達成状況

- A...事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
 B...事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
 C...事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。